

決算説明会資料

2021年9月期 第3四半期

アクセルマーク株式会社（東証マザーズ:3624）
2021年8月12日

目次

- 1 2021年9月期 3Q業績概要**
- 2 財務状況と債務超過解消の見通し
- 3 各事業の状況
- 4 2021年9月期 業績予想

1 1-1. 2021年9月期 業績予想の修正

業績予想の修正を発表（2021年8月12日）

単位：百万円

	2021年9月期 通期 予想 (修正前)	2021年9月期 通期 予想 (修正後)	増減額
売上高	2,525	2,600	75
営業利益	10	2	▲8

□ 主な修正理由

- ・ 広告事業が堅調に推移したこと
- ・ 4月に実施した資金調達に伴う資本金増加により、租税公課が増加したこと

※上記業績予想は、現時点において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

1 1-2. 2021年9月期 3Qサマリー



売上高

696百万円
(前四半期：631百万円)

営業利益

11百万円
(前四半期：5百万円)

□ 事業概況

- ・ 前四半期より継続して、当四半期においても営業黒字を達成
- ・ 2021年9月期 第3四半期累計期間において、当期純利益で58百万円の黒字
- ・ 広告事業の「ECMARK」が過去最高の四半期売上高を更新
- ・ 新たな事業としてヘルスケア事業を開始

□ 全社概況

- ・ 米・医療機器会社 Ascella Biosystems, Inc. への出資および業務提携

1 1-3. 損益計算書四半期推移

広告事業が堅調に推移したことで、QonQで増収増益
第2回CB※₁および第23回WT※₂の発行に伴う社債償還益により特別利益を計上

単位：百万円

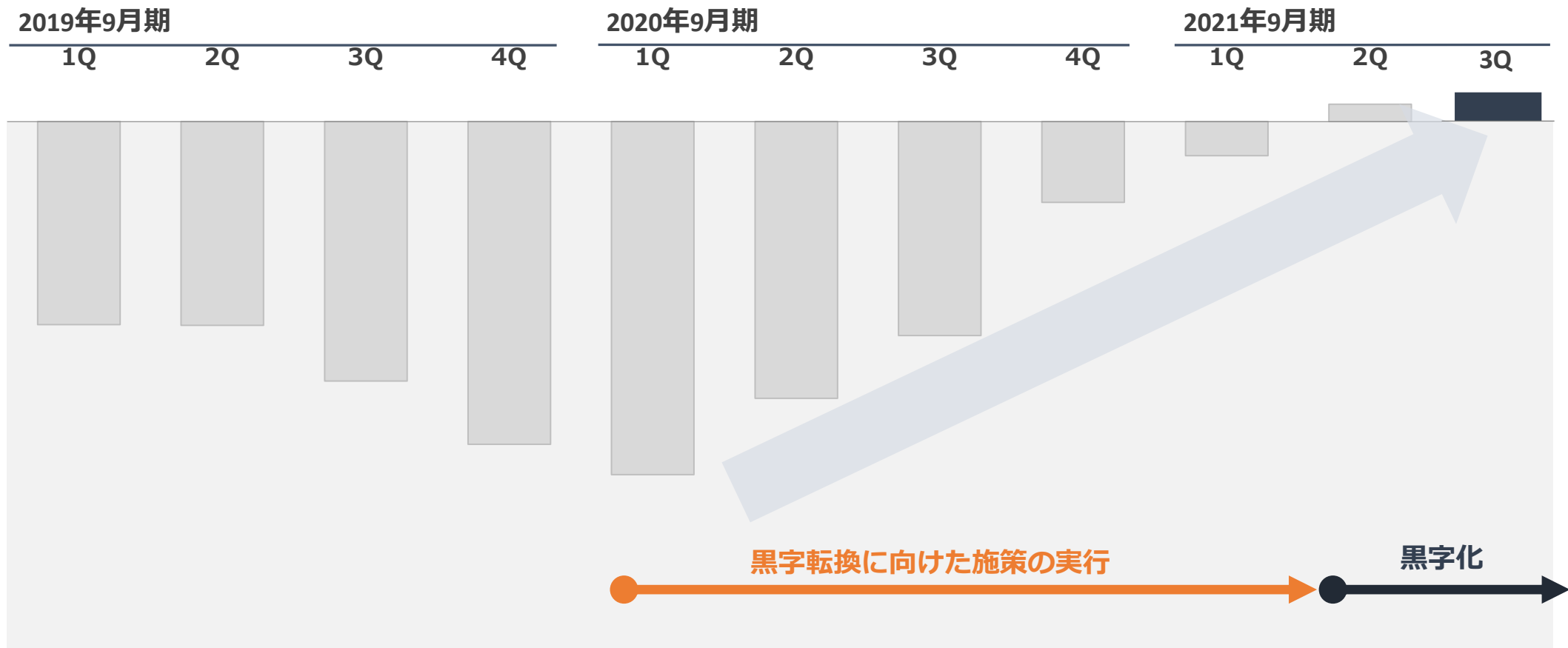
	前期※		当期		当期 3Q	QonQ 差異
	4Q	1Q	2Q			
売上高	643	632	631		696	+65
売上原価	613	552	555		613	+58
売上総利益	29	79	75		82	+7
販売管理費	86	103	70		70	▲0
(うち広告宣伝費)	(0)	(0)	(0)		(0)	▲0
営業利益	▲57	▲24	5		11	+6
営業外収益	9	11	26		5	▲21
営業外費用	3	0	9		4	▲5
経常利益	▲50	▲13	21		12	▲9
特別利益	22	-	-		38	+38
特別損失	14	-	-		0	+0
税金等調整前当期純利益	▲42	▲13	21		50	+29
法人税等	0	0	▲0		▲0	+0
当期純利益	▲43	▲13	21		50	+29

※2021年9月期第1半期決算より非連結決算に移行したため、前期実績は連結実績を記載しております

※1 第2回無担保転換社債型新株予約権付社債 ※2 第23回新株予約権

1 1-4. 営業利益四半期推移

前四半期から継続して営業黒字を達成し、
QonQで営業黒字幅が拡大



1 1-5. 貸借対照表概要

2 Q以降の四半期での黒字継続や、
資金調達が進み、自己資本比率33%まで回復

単位：百万円

	2020年 9月期 4Q末	2021年 9月期 3Q末
流動資産	680	1,501
現金及び預金	400	1,129
売掛金	227	320
その他	51	50
固定資産	134	191
有形固定資産	20	17
無形固定資産	3	2
投資その他の資産	110	171
資産合計	815	1,692
自己資本比率	▲21.7%	33.0%

	2020年 9月期 4Q末	2021年 9月期 3Q末
流動負債	412	303
買掛金	175	246
借入金	150	-
その他	87	57
固定負債	575	824
転換社債型新株予約権付社債	575	824
負債合計	987	1,128
資本金等	3,368	774
利益剰余金	▲3,538	▲210
新株予約権	4	5
その他	▲8	▲4
純資産等合計	▲172	564
負債・純資産等合計	815	1,692

目次

- 1 2021年9月期 3Q業績概要
- 2 財務状況と債務超過解消の見通し**
- 3 各事業の状況
- 4 2021年9月期 業績予想

2 2-1. 財務状況と債務超過解消の見通し（純資産額の状況）

2021年9月期において債務超過解消見込み
3Q末において「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消

2021年7月31日時点の純資産額の概算	純資産額の状況
1) 2021年9月期3Q末時点の純資産額	564 百万円
2) 2021年7月度純資産変動額（速報値）	7 百万円
合計	571 百万円

□2021年9月期 3Q期間の転換・行使状況について

資金調達額計 965百万円

第2回CB : 資金調達額 557百万円、転換済み株式数 897,600株

第23回WT : 資金調達額 408百万円、行使済み株式数 1,360,200株

目次

- 1 2021年9月期 3Q業績概要
- 2 財務状況と債務超過解消の見通し
- 3 各事業の状況**
- 4 2021年9月期 業績予想

3 3-1. ブロックチェーン関連事業 NFTについて

NFT (Non-fungible token / ノンファンジブル・トークン) とは、
ブロックチェーン上で発行される代替不可能なトークンのこと

Fungible Token

全てが同じ特徴を持つトークン



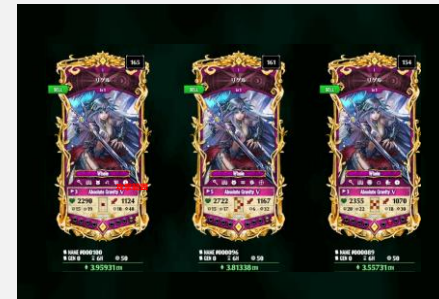
Ethereum



Bitcoin

Non-Fungible Token

1つ1つが異なる特徴を持つトークン



数量として合算可能なFungible Tokenと異なり、NFTではトークンの一つ一つにユニークさを定義できるため、デジタルコンテンツなどをブロックチェーン上で管理可能となることから、コンテンツ/エンターテインメント分野での今後の利活用が期待されている。

3 3-2. ブロックチェーン関連事業 NFTの事例

コンテンツやアート、スポーツ領域では、デジタルコンテンツの保有というNFTにより可能となった新しいユーザー体験を活かし、様々な取り組みが行われている



MLB CryptoBaseBall

野球 - メジャーリーグ



F1 Delta Time

自動車レース - F1



Panini UFC NFT

総合格闘技 - UFC

プロバスケットボールリーグのNBAをテーマとしたBCゲーム「**NBA Top Shot**」は、2020年10月のサービス開始から累計で約**550億円**以上を売り上げる※など、注目を集めている。

※NBA Top Shot Dappr Lab社 (カナダ) <https://www.dapperlabs.com/#products>

3 3-3. ブロックチェーン関連事業 市場状況

Yahoo! JAPANとLINEが連携を発表。NFTアイテム取引のハードルが下がり、取引が活発になることで市場拡大が見込まれる。



▶ 「LINE Blockchain」基盤のNFTアイテムを取引できる「NFTマーケットβ」の提供を開始。今夏に正式版の提供を予定。



▶ Yahoo! JAPANとLINEが連携を発表。「ヤフオク!」上において、NFTアイテムが簡単に取引可能に。今冬開始予定。

当社とOneSportsと共同で開発中の新タイトルは「LINE Blockchain」プラットフォーム上でのサービス提供を予定。LINEのグループ会社であるLVCと本タイトルに留まらない継続的な協議を続けております。 ※LVC株式会社：LINEの暗号資産事業およびブロックチェーン関連事業を展開している

3 3-4. ブロックチェーン関連事業 BCゲーム第2弾



OneSports社(オルトプラス子会社)が、Jリーグとのオフィシャルライセンス契約を締結。

当社と共同開発中の新タイトル「Crypto Sports(仮称)」は
プロスポーツリーグオフィシャルライセンスを使用する国内初のBCゲーム
として提供を予定。



2021 明治安田生命 J1リーグおよび J2リーグ所属の**全42クラブ800名**
以上の選手が実名実写で登場し、ユーザーはクラブのオーナー兼監督と
なり、自分自身のクラブを作り上げリーグの頂点・勝利を目指す
シミュレーションゲーム。



LINE Blockchain

LINE Blockchain プラットフォーム上でサービスを提供予定。
ゲーム内で**育成した選手をNFT化**することで従来のソーシャルゲームでは
実現できなかったユーザー間での売買が可能。

3 3-5. ブロックチェーン関連事業 ビジネスモデル

当社は**NFT**領域における事業展開の先駆者として
今後も様々なIPホルダーとのアライアンスを予定



3 3-6. ヘルスケア事業 ビジネスモデル



3社の強みを活かして、国内外ベンチャー企業の新規技術を評価し、日本市場での成長が見込まれる有望な技術・製品の国内事業化権を確保した上で、適切な事業パートナーを開拓し、バリューチェーンを構築する事業開発型のビジネスモデル

3 3-7. ヘルスケア事業 取り組み内容

米・医療機器会社Ascella Biosystems, Inc.への出資および業務提携



医療機器スタートアップ企業（本社：米国カリフォルニア州）
開発中の「**Ascella Real Time System**」は、
分子診断技術を用いた新型コロナウイルス迅速診断法であり、
現在主流となっているPCRやLAMP等の手法と比べ、
速さとコストにおいて優位である可能性がある。

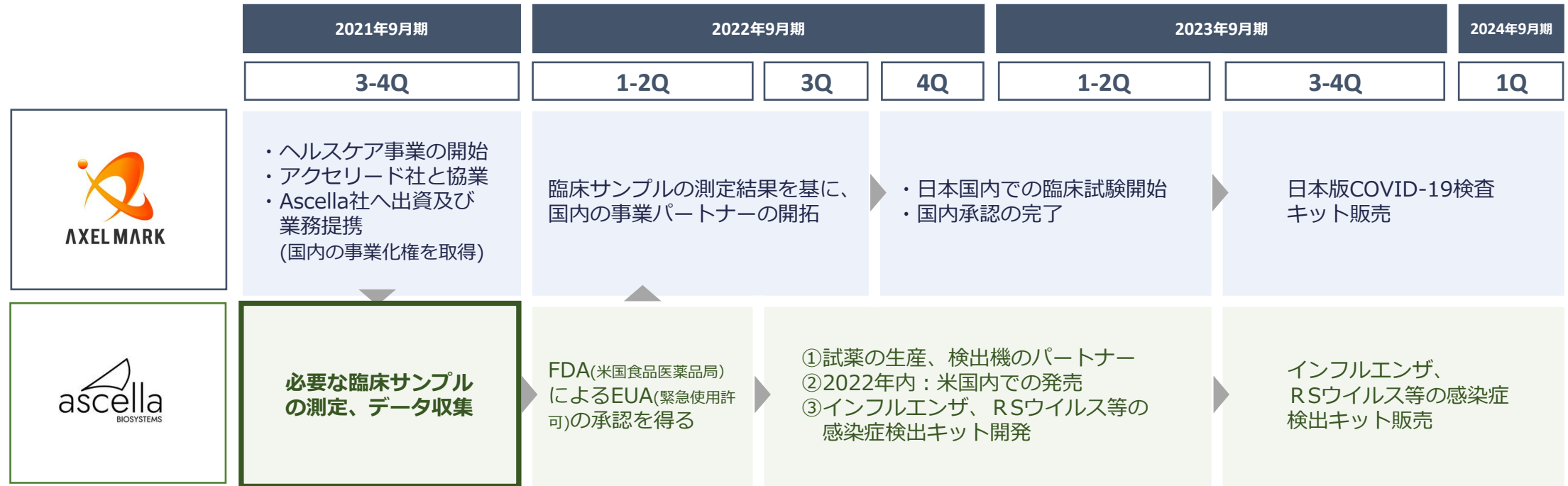


Ascella Real Time System（当社は日本国内の事業化権を獲得）

COVID-19及び変異株を含む、インフルエンザ等の様々な感染症に対しても対応可能であり、
COVID-19の収束後も需要を見込む。

従来の検査と比べ簡易的に検査ができ、短時間で結果を確認することができるため、
将来的に様々なシーンでの需要を見込む。(例:イベント会場等において非医療機関での簡易検査など)

3 3-8. ヘルスケア事業 ロードマップ



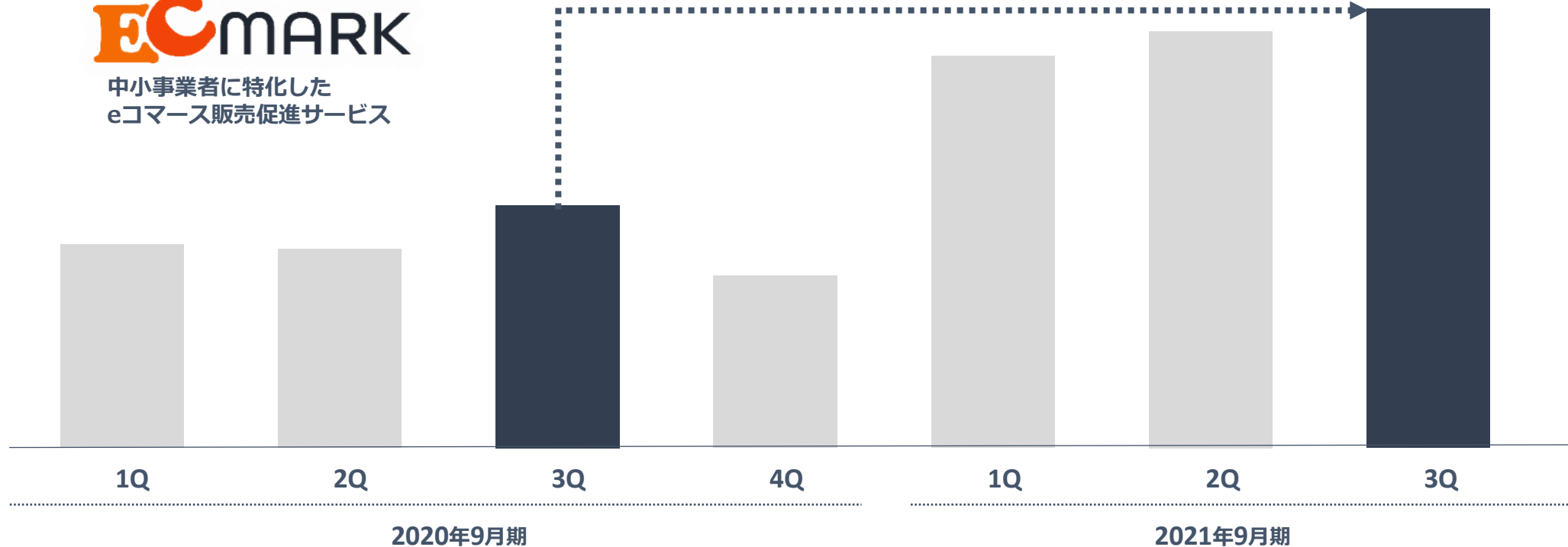
Ascella社： 当社および個人投資家より、目標を上回る資金調達に成功。FDA申請に必要なより多くのデータを収集するため、研究施設の増床、社員採用を行い研究チームを拡大し、患者の臨床サンプルで研究開発を継続中。

3 3-9. 広告事業 「ECMARK」の業績

「ECMARK」は、2021年9月期1Qから引き続きEC関連サービスの利用拡大に伴う広告需要を取り込み、**過去最高の四半期売上高を更新**

前年同期比
売上高
181.0%

ECMARK
中小事業者に特化した
eコマース販売促進サービス



3 3-10. 広告事業 新たな取り組み

広告領域の新規事業として、
自社アドネットワークのOEM提供を開始



2022年9月期よりサービス導入開始予定。今後もパートナー企業拡大を見込む。

全社

2021年9月期3Qにて、前四半期から継続して営業黒字を達成。
4Qにおいても黒字を達成し、通期での黒字転換を目指す

既存事業

- **広告事業** 収益事業として
引き続き事業拡大を目指す
- **BC関連事業** ブロックチェーン/NFTを活用
したプロジェクトへの出資等、
他社とのアライアンス展開
- **IoT事業** 今までのノウハウを
ヘルスケア事業に還元

新規事業

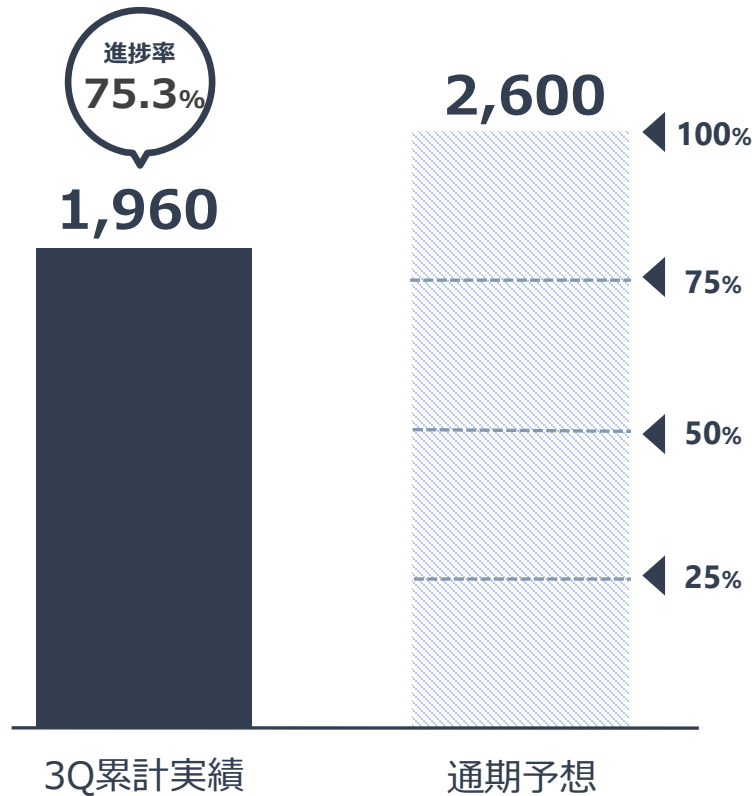
- **ヘルスケア事業**
Ascella社との取り組みに注力して、
引き続きヘルスケア × IoT市場
の新規事業開発を目指す

目次

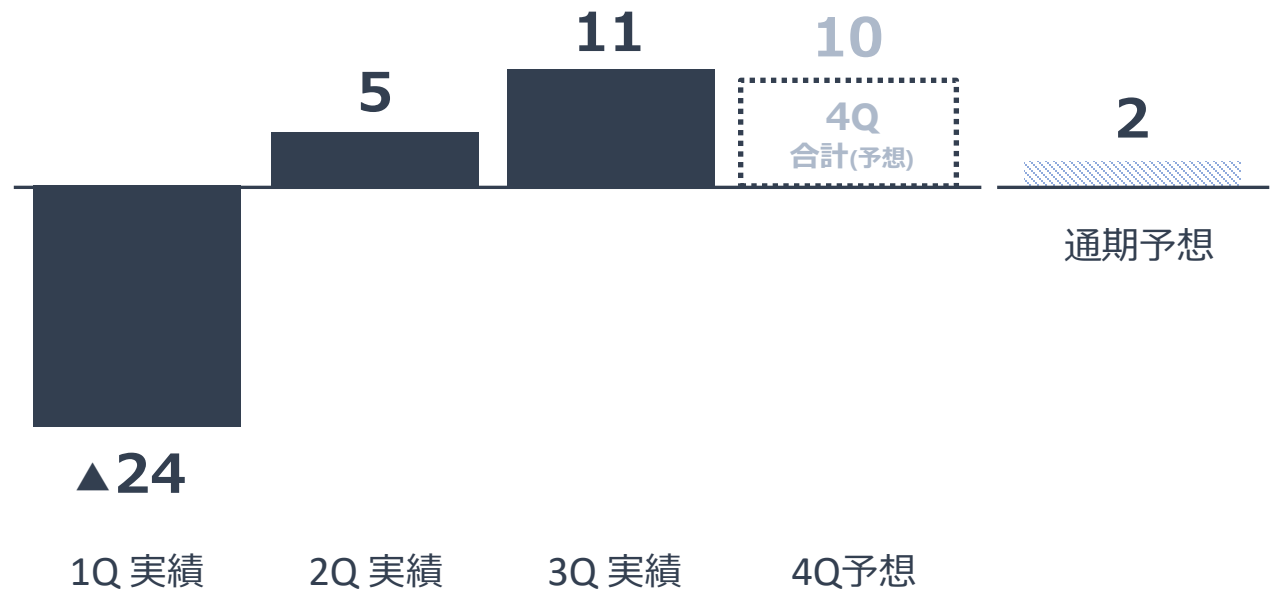
- 1 2021年9月期 3Q業績概要
- 2 財務状況と債務超過解消の見通し
- 3 各事業の状況
- 4 2021年9月期 業績予想**

4 4-1. 2021年9月期 業績予想の進捗状況

2021年9月期通期での営業黒字化を目指す



売上高
(単位：百万円)



営業利益
(単位：百万円)

「楽しい」で世界をつなぐ



当資料はアクセルマーク株式会社が作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。

当資料は当社の現在発行している、また将来発行する株式や債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが、当社がその正確性を保証するものではなく、

事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。

最新情報やお問い合わせは下記のコーポレートページよりお願いいたします。

<https://www.axelmark.co.jp/ir/>